

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2月11日(火) **バレンタインイベント!!**

- はじめてのラテアート体験会
13:00~/14:00~
(事前申し込み先着順)
- おかしなえほんをかりて
プレゼントをGETしよう!
(無くなり次第終了)
- バレンタイン缶バッジくじ
本を10冊借りて、ガチャガチャを
回そう! 限定の缶バッジがもらえるよ!
- オリジナル缶バッジ作りにチャレンジ



移動図書館車

クックちゃん号



回 覧

走ります!!

2月6日(木)に移動図書館車の
出発式が開催され、試験運用が
始まります。小説・絵本・コ
ミック・雑誌など、約500冊の
資料を載せて走ります。現時点
では学校や各地区の体操サロ
ンに合わせて運行予定です。詳細、
運行日程などは、別途チラシ、
または玉川村公民館インスタ
グラムをご覧ください。

InstagramID

玉川村公民館@tamakawa_4632

クックちゃん新聞

No.213

2025.2月発行
編集・発行
玉川村公民館



役者人生、泣き笑い 西田敏行 著

映画好きな養父母のこと、美少年だった中学時代、俳優を目指して東京の高校を受験したこと……その役者としての原点から、青年座入団、大河ドラマ、映画『釣りバカ日誌』などなど、サラリーマンから將軍まで何百という人生を演じてきたその人生を、時におもしろくまた時にほろりとするエピソードを、おしげもなく描いていきます。またその人生は、同時に、日本の映画やテレビの、俳優から見た“もうひとつの歴史”の貴重な証言にもなっており、昭和・平成の“芸能史”を語るうえで、欠かせない資料にもなっています。「国民的俳優」の初の自伝は読みどころ満載です。

連続殺人鬼カエル男 完結編 中山七里 著

凄惨な殺害方法と、稚拙な犯行声明文で世間を震撼させた「カエル男連続猟奇連続殺人事件」。事件のキーマンである有働さゆりは医療刑務所から脱走し、行方知れずのままだった。その頃、精神疾患を抱える殺人犯を無罪にした人権派弁護士が何者かに殺害される事件が発生。遺体のそばには、あの稚拙な犯行声明文が残されていた。捜査一課の渡瀬と古手川はカエル男の犯行を視野に入れて捜査を進めるも人権派弁護士の殺害は続く。これまでと異なる動きを見せるカエル男に翻弄される渡瀬は、ある人物からひとつの提案を受け……。

人魚が逃げた 青山美智子 著

小説を愛するすべての人に、この嘘を捧ぐ一。あの三月の週末、SNS上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をさまよい歩き、「僕の人魚が、いなくなってしまう…逃げたんだ。この場所に」と語っているらしい。彼の不可解な言動に、人々はだんだん興味を持ち始め一。そしてその「人魚騒動」の裏では、五人の男女が「人生の節目」を迎えていた。銀座を訪れた五人を待ち受ける意外な運命とは。「王子」は人魚と再会できるのか。そもそも人魚はいるのか、いないのか…。

いつかの朔日 村木嵐 著

室町幕府の権威が低下し、各地で戦乱が巻き起こっていた戦国時代。松平家が城を構える三河、周辺国である尾張、遠江、美濃らが絡む東海一円の覇権争いは熾烈を極めていた。そんな争いのなかで、織田氏について今川氏に質物として囚われていた松平家の竹千代——後の徳川家康。数奇な運命を辿った幼少期から天下人になるまで。様々な視点で戦国一の武将を描く連作短編集。